

烏川の源流と水を守りたい！

烏川は群馬と長野県境の鼻曲山の源流から利根川に合流するまでダムのない清流です。



クマタカ

いま、利根川の中下流域の治水対策のために、2003年に中止された「倉淵ダム」を再建する事業計画が始まろうとしています。倉淵の烏川源流域には、環境省の絶滅危惧種ⅠB類(EN)に指定されているクマタカが繁殖する豊かな自然環境があります。ダム建設はこの環境を壊し、高崎市の良質な上水の供給源になっている烏川の清流を濁す恐れがあります。

ダムのない清流との暮らしを大切にするため、自然と人の関係、川と人の関係を地域住民の立場を尊重しながら研究してきた「大熊先生」のお話を伺いたいと思います。

河川工学者 新潟大学名誉教授

大熊 孝 先生 講演会

「川の定義で、肚を括る」

経歴

1974年、東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻博士課程修了
1974年 - 1985年、新潟大学工学部助手/講師/助教授
1985年 - 2008年、新潟大学工学部建設学科環境計画講座教授。
1998年 - 2000年、土木学会土木史研究委員会委員長。
2008年 - 新潟大学名誉教授
2015年 - 2021年 新潟市潟環境研究所所長。
2015年 - 2026年 水の駅・ビュー福島潟名誉館長。
2008年 新潟日報文化賞受賞
2020年 『洪水と水害をとらえなおす』(農文協)毎日出版文化賞受賞
2021年 土木学会功績賞・出版文化賞受賞

主な著書 (単著)

- 「利根川治水の変遷と水害」東京大学出版会 1981
- 「洪水と治水の河川史—水害の制圧から受容へ—」平凡社 1988 / 平凡社ライブラリー 2007
- 「川がつくった川、人がつくった川」ポプラ社 1995
- 「技術にも自治がある—治水技術の伝統と近代—」農文協 2004
- 「川がつくった川、人がつくった川」農文協 2026 新版



2026

参加費 500 円

7月11日(土) 14:00 (13:30 開場) 高崎市労使会館

主催：NPO 法人アグレコ 烏川 源流の会

賛同：倉淵ダム研究会 烏川を大事にする会
つばさの会 高崎の水を考える会
ハッ場あしたの会

〒370-0045 群馬県高崎市東町 80-1

TEL：027-323-1598

高崎駅東口から北 300m 東町信号左 50m

お問合せ 090-4177-0579 ならはら